



地産地消 バイキング給食



22日(火)の給食は、地産地消バイキング給食でした。

テーブルには、五ヶ瀬町や宮崎県内で生産された食材を使って調理された「おにぎり」や「唐揚げ」「ミートボール」「サラダ」「サツマイモチップ」などが並びました。子どもたちは自分で食べきれぬ量を考えながら、お皿に乗せ、学年ごとに輪になって会食をしました。

途中、すこやか委員会の児童による「給食クイズ」もあり、笑顔あふれるバイキング給食となりました。おかわりをする児童も多く、山ほどあった料理も、見事に片付けました。

献立を考えてくださった吉田由起子先生、調理をしてくださった橋本美智代先生、佐伯ひとみ先生、山中五子先生、ありがとうございました。



給食を、みんなと一緒においしく、たくさん食べられて、楽しかったです。
(6年 甲斐幸太郎)



自分たちが育てたおいものチップが食べられて、うれしかったです。
(2年 桑原彩依)

輝きました！ 五ヶ瀬町 教育文化祭



29日(火)に行われた町教育文化祭では、三小の子どもたちが力を発揮して輝きました。意見発表の部では、6年生の宮野逢良さんが「命は花束」というテーマで、命をみんなで大切にしなければいけない、という発表をしました。落ち着いた分かりやすい発表で、聴衆を引き付けていました。

音楽の部では、全校児童で合唱「カイト」と合奏「風になりたい」を披露。どちらも、これまでの練習の成果を十分に発揮でき、こちらも聴衆を魅了しました。特に合奏は、「演奏している人が心から楽しんでいるから、その楽しさが聴く人にしっかり伝わった。」という講評をいただきました。本当に素晴らしい演奏でした。拍手！



緊張したけど、みんなが笑顔で聞いてくれたので、とても発表しやすかったです。(6年 宮野逢良)



曲紹介で、みんなに分かりやすく伝えようと思いました。合奏では、木琴が練習より大きくて戸惑ったけど、うまくいってよかったです。
(6年 藤高妃陽)